

三八教育新聞

2020.9.18

青森県教職員組合三八支部
031-0073 八戸市売市一丁目8-20
タウンハウス野沢D-2
TEL FAX 0178-431777 3

ゆきとどいた教育を考える三八の会主催恒例の「教育なんでも懇談会」 誰でも参加できます！
10月3日(土) 13:45〜八戸市福祉公民館
話題提供：認定子育てハッピーアドバイザー米田利希子さん
「人と違うって、やっぱり変なの？」 資料代300円

「コロナ禍」今こそ少人数数学級を働き方の見直しを 2020地教委キヤラバンで要請

県教組三八支部は、例年、支部役員が「地教委キヤラバン」と称して三八管内7市町村教育委員会を回り、懇談を持っています。8月4日は南部町・三戸町・田子町・五戸町・新郷村を、6日には八戸市・階上町の各教育委員会を訪問しました。

今回は、「コロナ禍」での様々な困難な中、各市町村の様子や取組を聞きながら、今後子どもや学校へのさらなる施策を要請しました。懇談に快く応じてくれた各教育委員会に感謝します。(以下、懇談内容から)

少人数学級編制、定数改善を

◇3月・4月後半(八戸・階上は4月前半)〜5月連休明けの臨時休校。再開後の毎日の健康確認と消毒徹底。「三密」を避けるため、行事縮小延期や多目的ホールなどの広い場所に移動して授業、あるいはクラスを割って授業するなど、先生たちに大変苦勞をかけた。

各市町村とも少人数学級編制が理想的であり、喫緊の課題だと。全国知事会や市長会など、今までになく高い声が上がっている。教職員定数の改善を急いでほしい。

◇新郷村は、他市町村と比べ臨時休校期間も短く、学校行事も規模縮小しながら予定どおり実施できている。夏休みの短縮もない。人数の少なさが、ここではメリットとして活かされた形だ。

学校教育や子ども・保護者への支援は

◇各市町村とも、国の補正予算配分で非接触型体温計やマウスガード、自動水栓などを導入または導入予定としている。実は2次補正予算には1校につき100万円(規模による違いあり)という配分がされているが、使途について学校と相談したという市町村は2自治体だったよう

◇「コロナ禍」で厳しい経済状況の中で、各市町村とも住民への支援対策を実施している。学校関係では、就学援助認定について配慮する(八戸市は保護者宛通知を発行)としている。給食費は以前から無償の南部・新郷の他、五戸・田子・階上も今年度は徴収しないとしている。奨学金の返還猶予も各市町村で配慮。五戸では申請のあった学生に独自の補助を出す。八戸市は希望者を多めに採りたいとしている。

◇かねてより要請していた就学援助費の「入学前支給」は、今年度から階上町が小学校で実施することになったとのこと。

多忙化解消と教職員の時間管理は

◇時間管理については、全市町村がタイムカードまたはPCソフトでの管理となっていたが、教委への例月報告や勤務時間内容の点検までいっていない町村も見られる。

◇八戸市は6月から「時間外在校等時間」の内容を追加入力しているが、文科省からの勤務時間について意識してほしい意

今年の学校閉庁日は

◇「学校閉庁日」、八戸市は今年度より1日増え3日間となったが、13・14・15日固定のため、実質昨年と同じ2日間だった。今回12・13・14日としたのは南部・田子・新郷・階上。五戸は2学期開始が17日からの学校があり13・14日の2日間にしたという。にしても皆さん、夏季休暇4日とれましたか？

来年度以降の学校統合は

◇新郷村は、次年度より
西越小⇨戸来小
野沢中⇨新郷中(校舎は野沢中)
◇階上町は、次年度より
大蛇小・小舟渡小⇨道仏小
◇南部町は、懇談当日には話せないことされ、後日の新聞報道では向小⇨南部小、剣吉小⇨川南小⇨名久井小、福田小⇨杉沢小⇨福地小(校舎は福田小)、杉沢中⇨福地中という方針を発表している。

新たな特別支援学級の加配基準は三八によってマイナスだった

今年2月の教育事務所・八戸市教委での懇談の際、「県の学級編制基準が現在8名を超えると2学級になる基準であるが、新年度から6名を超え8名未満の学級に1名加配する方向、ただしこれまで2学級のところへの1名加配はなくなる」という内容が聞こえていました。(下表参照)

児童生徒数	1~6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
学級数	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2
教員数2C3T	1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	3
教員数新基準	1	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3

実はふたを開けてみると、八戸市内の同じ種別が2クラス設置している学校の多くで、これまでいわゆる「2C3T」で配置されていた加配教員が減ってしまい、少なからず混乱があったということです。

このことについて、三八教育事務所に現行の基準が変わった経緯について質問したところ、本庁に聞いた話として回答がありました。

この配置基準は県独自の基準で、例年見直しをしている、学級編制では8名まで1学級で、9名になると2学級=教員1名あたり児童生徒4名・5名の担当、これが2C3Tだと教員1名あたり児童生徒3名となる。教員1名あたりの持てる人数を最大6名以内にしたいため、今回の改正で例えば7名の学級であれば加配することで教員1名あたり4名・3名となる。不公平感の是正とのことだ。三八管内は加配がなくなった分で昨年度より教員数減少したが、他管は増えていて、県内全体も増えている。(ただし学級増により教員数が増えたのかも知れない、詳しくは判らないとのこと)

もっと早めにわかれば、必要であれば前年秋の加配申請などもできたのではないかと、いつ頃当該校に伝わっていたのか、現場にもっと配慮が必要ではないかと思えます。

夏の協力カンパ ありがとうございます。

- 八戸小 吹上小 湊小 是川小 多賀小 島守小 第一中 第二中 第三中 江陽中 湊中 白銀中
- 白銀南中 南浜中 下長中 是川中 三条中 明治中 市川中 豊崎中 中沢中 島守中 杉沢小中 五戸小
- 川内中 清水頭小 上郷小 田子中 向小 名川中 南部中 福地中 南部杉沢中 赤保内小 新郷中

合計 312,610円 (9/3現在)